



道徳だより

2025.10.22 号
みよし市立緑丘小学校



5年生「これって不公平？」(内容項目C 公正、公平、社会正義)

ねらい

集団の一人一人が不合理や排除に遭わず自分の思いが尊重されているか、集団としてその配慮があるかが公正、公平の視点であることを理解し、みんなで正義の実現に努めるための判断力を育てることをねらいとして授業を進めました。

授業の様子

めあてを「不公平な思いをする人が出ないようにするためにはどんな思いが大切だろう」として授業を始めました。始めに、教材の4つの場面を読み、それぞれが公平と思うか、不公平と思うか決めて挙手をしました。その結果③の場面についてじっくり考えることにしました。



教材の概要 それぞれの場面が「公平」か「不公平」か、その理由を話し合おう。

- ① 休み時間にサッカーをして遊びたいのですが、ミカさん女の子だから仲間に入れてもらえませんでした。
- ② 車いすに乗っているけんたさんは、キャッチボールがうまくなりたいと思っていますが、友達はやるいボールしか投げません。けんたさんが取り損ねて悲しい思いをしてはいけないと思うからです。
- ③ 給食のカレーを全員同じ量ずつ分けます。カレーが嫌いなので少しがよいと思っているアヤカさん。ユウヤさんは、お腹がすいたので、「えっこれだけ?」と言っています。
- ④ 子ども会で紙芝居を作ることになりました。三人で作り始めましたが、時間がかかってしまい、ジュンヤとナナが塾に行く時間になりました。「アキラは、絵を習っているから残りの絵は一人で書いておいてね」と言ってジュンヤとナナは帰ってしまいました。

グループに分かれ、少人数で意見交換し、友達の考えを聴き合いました。その時に保護者の方にも考えを伝えてもらいました。その上で、自分の最終的な意見をホワイトボードに記入しました。全員が書けたところで黒板に貼って全体で話し合いました。「給食は全員同じ量にすることは公平だと思う。たくさん食べたかったら、お代わりをすればよいのでは。」「嫌いなものも食べないといけないのは分かるけど、嫌なことを無理にすると、給食を嫌いになってしまうので少しがよいならその子に合わせて少しにするのが公平だと思う」「たくさん食べたい子、少しでよい子、それぞれの思いをよく聴いて対応することが公平だと思う」「みんなの考えを聴いていたら、よく分からなくなってきた」などいろいろな面からの意見が出されました。最終的には「互い思っていることをしっかり伝え、聴くことが公平につながっていくのではないかな」というまとめとなりました。ご家庭でもぜひ話題にしていきたいです。

以下に参観された保護者の方々の感想を一部掲載させていただきます。

○公平か不公平か、大人も考えさせられる内容で終わった後、夫と話しながら帰りました。公平か不公平か決められなかった娘ですが他の子の意見を聞いて少し考え方が広がったのかなあと見ていて思いました。いろいろな意見が出て面白かったです。話がずれるような時は公平かどうかの視点で考えられるように先生が丁寧に子どもに質問したり、5年2組はどうだったかな?と身近な問題として考えられるように質問してくれたので、聞いている子ども達はもちろん保護者もとても分かりやすかったです。子どもたちが最後ノートにどんな振り返りをしたか気になりました。

○公平、不公平、改めて考えさせられました。公平の意味を事前に調べているお子さんもいて感心し、みんなの意見も全てうなずけるものでした。難しい問題をしっかり考え意見を出し合っていて素敵な参観でした。息子とは意見が全く一緒で少し笑えました。

○大人でも難しい、考えさせられる内容でしたが、自分の意見をしっかり答えていて成長を感じました。他の子の意見を聞いて、私もなるほどと思い、そういう意見もあると勉強になりました。子どもたちと真剣に一つの内容を話し合うのは楽しかったです。